

2020 年度 早池峰山シカ関連調査 報告

鈴木まほろ（岩手県立博物館）

1. 早池峰山センサーカメラ調査結果

1-1 設置位置図・1日あたり出没頭数 p.2-4

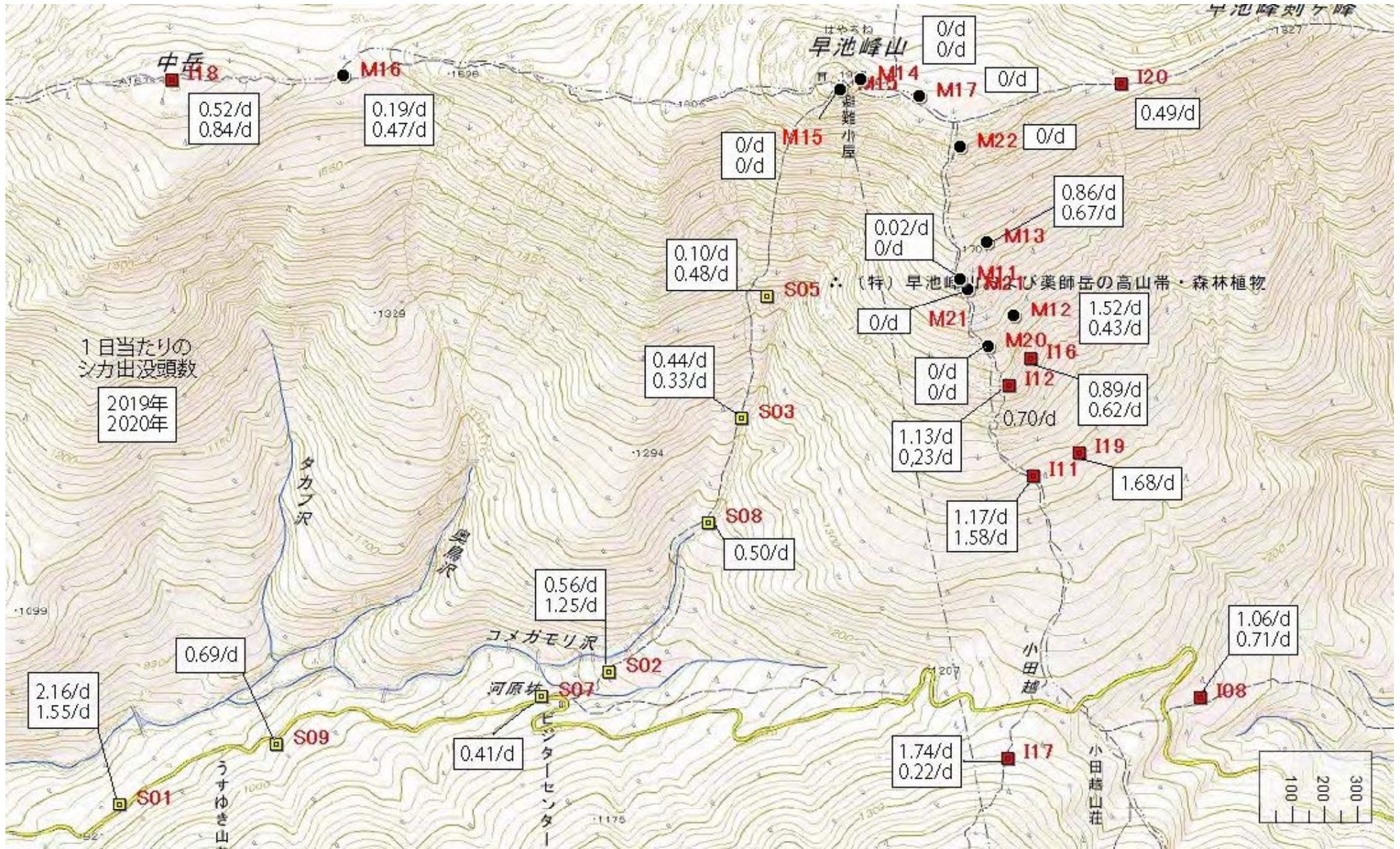
1-2 各カメラの撮影結果 p.5

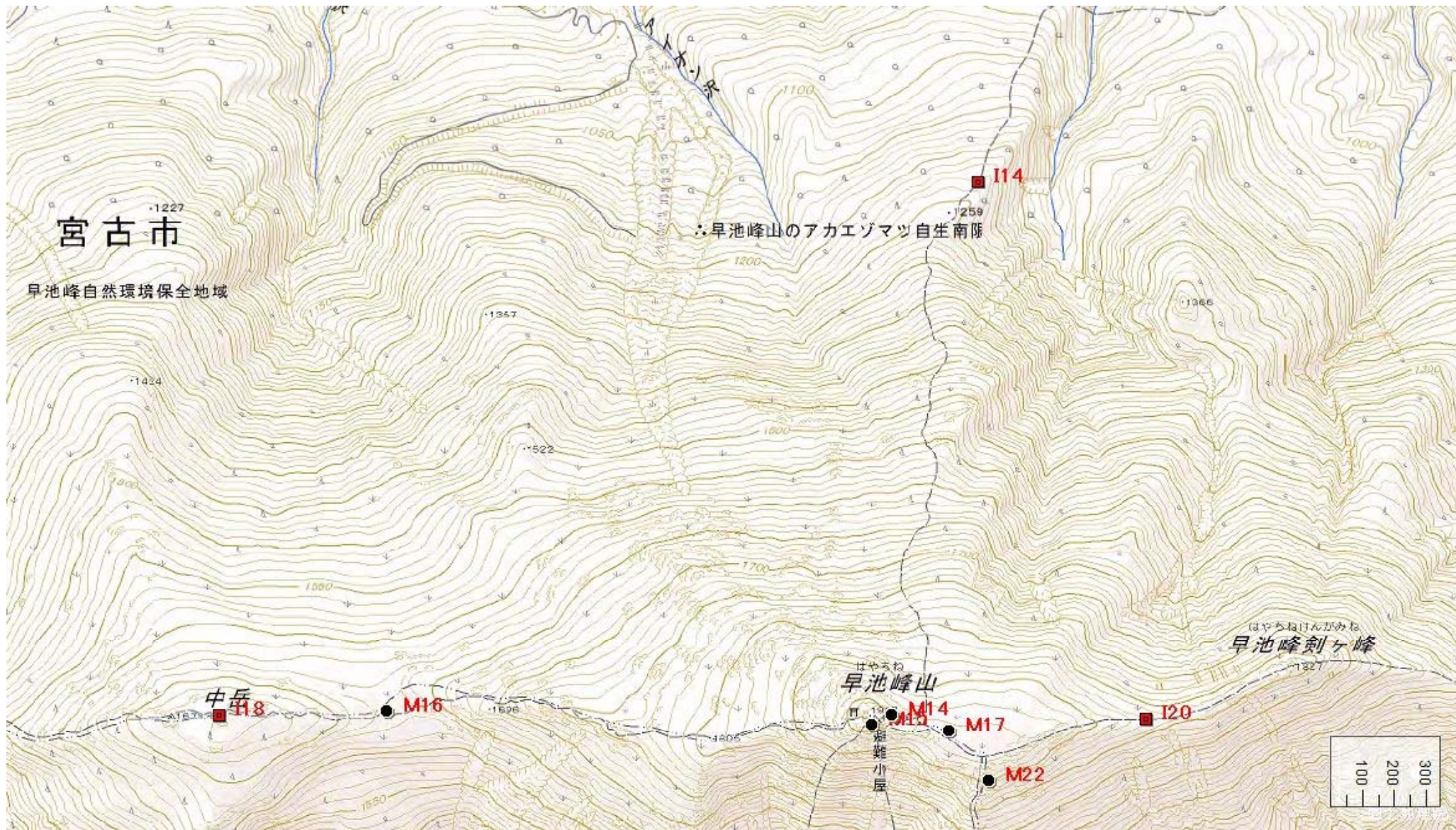
1-3 シカの毎月出没頭数・出没時刻 p.6

1-4 鶏頭山麓カメラによる長期撮影結果 p.7

2. 防鹿柵内外の植生モニタリング結果 p.8-11

3. 食痕調査・植生モニタリング結果 p.12-14

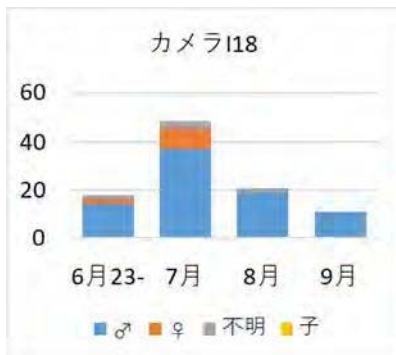




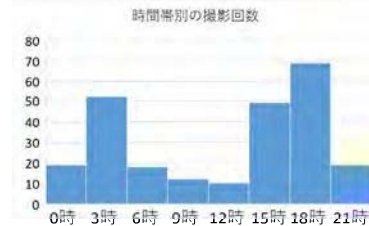
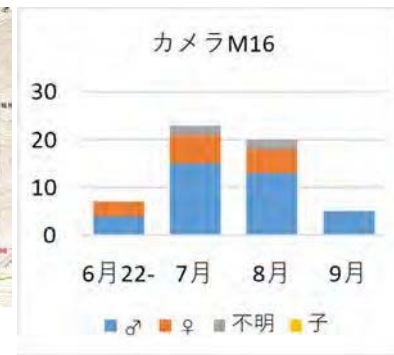


No.	標高(m)	設置	最終	設置日数	実測日数	備考	シカ合計	1日当り	最大頭	カモ	ノウ	クマ	テン	タヌ	アナ	キツ	ネズ	トリ	ヒト	他
I08	1180	5/2	10/16	167	152		108	0.711	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	4
I10	1290	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I11	1370	5/25	10/23	151	151		239	1.583	5	2	2	2	0	0	0	1	0	0	2	0
I12	1530	5/30	10/19	142	142	柵	32	0.225	3	9	8	1	0	0	0	0	0	0	6	1
I13	1880	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I14B	1230	5/31	10/22	144	144		18	0.125	2	3	0	7	4	0	0	0	0	0	151	0
I15	1790	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I16	1530	5/31	10/19	141	141	柵	88	0.624	2	1	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0
I17	1280	5/16	10/26	163	99	柵	22	0.222	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	26	0
I18	1680	6/23	10/18	117	117		98	0.838	3	1	1	2	1	0	0	0	0	1	111	0
I19	1374	5/27	10/20	146	146		245	1.678	3	4	7	5	1	0	0	1	0	3	0	0
I20	1819	6/13	10/18	127	79		39	0.494	2	3	2	3	0	1	0	0	0	0	169	0
S01	940	5/18	10/20	155	155		241	1.555	4	0	1	2	0	0	5	0	0	0	0	1
S02	1065	5/18	10/20	155	155		194	1.252	5	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0
S03	1250	5/29	10/13	137	137	柵	45	0.328	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0
S04	1380	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S05	1420	5/29	10/13	137	137		66	0.482	3	20	15	4	2	0	0	3	0	0	3	1
S06	1500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S07	1050	7/24	10/20	88	88		36	0.409	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	1
S08	1180	5/29	6/24	26	26	柵	13	0.5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
S08B	1180	7/24	10/20	88	88		61	0.693	2	0	2	2	0	0	0	0	0	8	1	2
S09	970	6/25	10/20	117	117		81	0.692	4	0	0	2	1	1	0	2	0	0	2	1
M11	1650	7/17	10/18	93	93		0	0	0	8	3	5	0	0	0	5	0	3	1	0
M12	1590	6/13	10/18	127	127	柵	54	0.425	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0
M13	1680	6/13	10/2	111	111		74	0.667	3	19	5	12	0	0	0	0	0	0	1	1
M14	1900	6/22	10/18	118	118		0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
M15	1900	7/17	10/18	93	93		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
M16	1630	6/22	10/18	118	118		55	0.466	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	67	19
M17	1880	6/22	10/18	118	91		0	0	0	5	5	0	0	0	0	1	0	3	0	0
M20	1560	6/22	10/18	118	118		0	0	0	2	3	0	3	0	0	1	2	11	1	0
M21	1650	7/17	8/4	18	18		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
M22	1850	6/13	10/18	127	111		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
No.	標高(m)	設置	最終	設置日数	実測日数	備考	シカ合計	1日当り	最大頭	カモ	ノウ	クマ	テン	タヌ	アナ	キツ	ネズ	トリ	ヒト	その
M01	550	5/1	10/31	183	183		1055	5.765	6	2	0	14	6	39	15	3	0	0	9	5

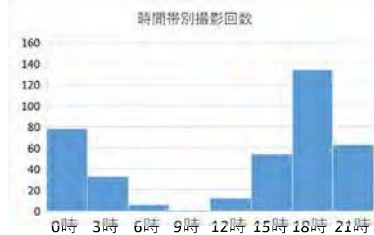
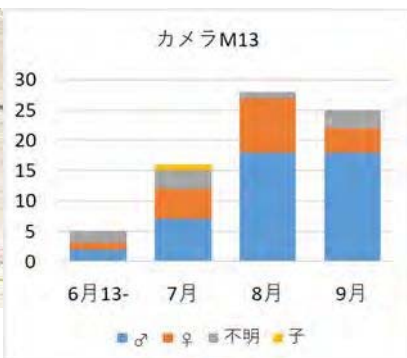
1-3 シカの毎月出没頭数・出没時刻1

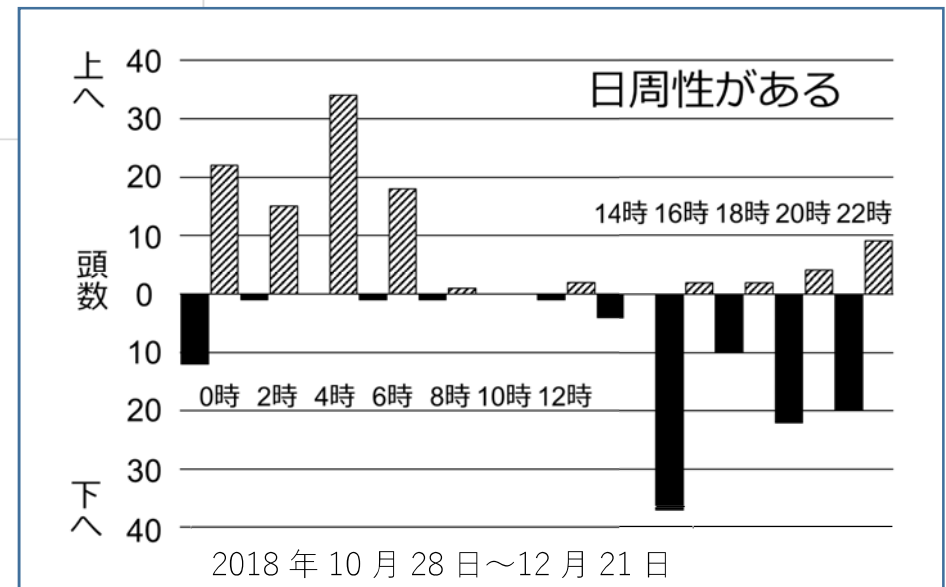
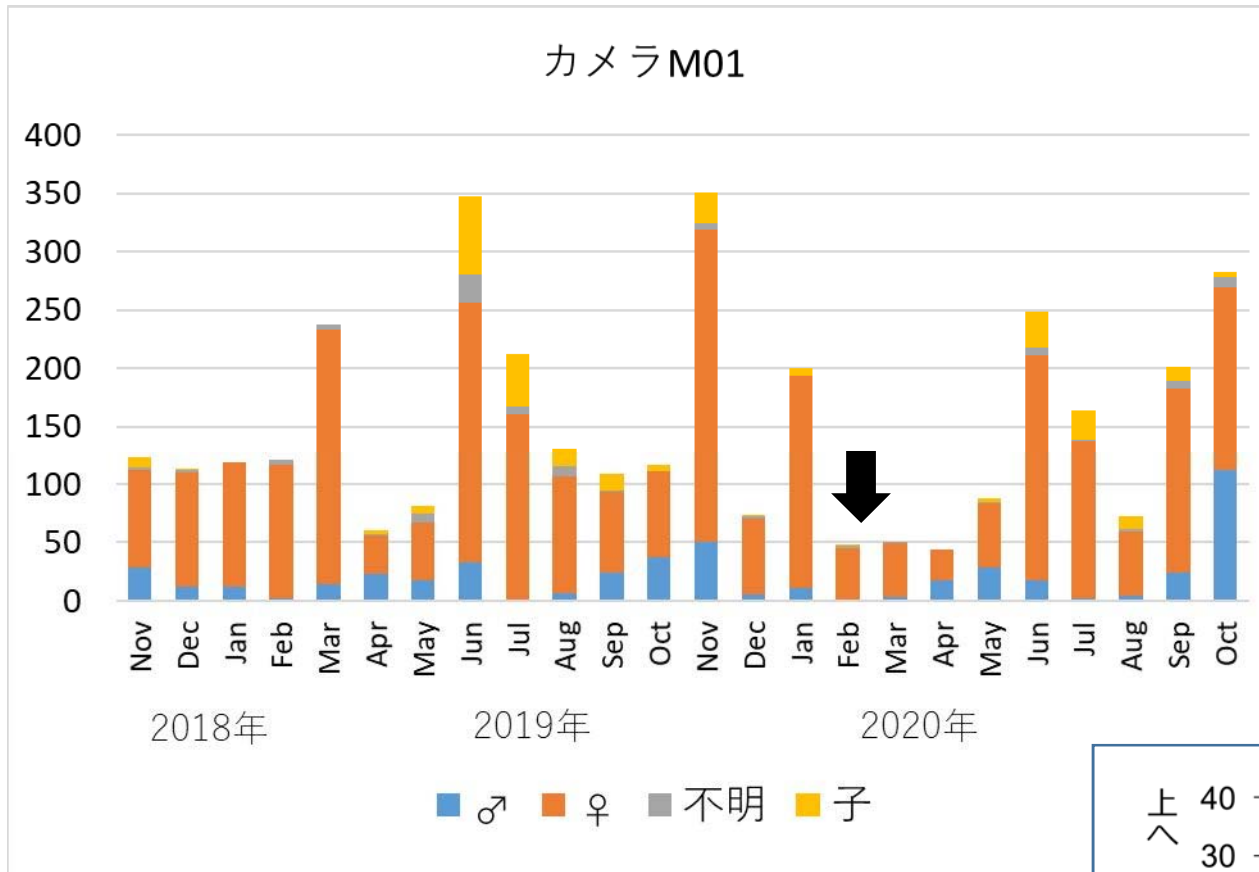


1-3 シカの毎月出没頭数・出没時刻2



1-3 シカの毎月出没頭数・出没時刻3





【方法】

河原坊登山道及び小田越登山道沿いの林内に設けられた4つの防鹿柵の内部に50cm四方の固定枠を3個または5個設置した。また各柵に隣接する外部に50cm四方の固定枠を各3個設置した。

2018年夏（設置時）と2019年・2020年夏に、それぞれの枠の真上から写真を撮影し、画像解析により、枠内の植物の葉面積と枠全体の面積の比を求めた（解析中）。

【ネットの設置日】

柵2（東北森林管理局）	2018年9月5日、2019年6月12日、2020年5月26日設置
柵1・3（岩手県）	2018年8月27日、2019年7月21日、2020年5月26日設置
オサ柵（岩手県）	2019年7月22日、2020年5月29日設置

【結果】

柵の内部では明らかな植生の回復が見られ、特に2020年には大幅な回復が認められた。柵の外部では大きな変化が見られないか、わずかに植物の減少が認められた場所があった。

（画像解析は未了）

<柵内の植生変化 1>



<2-1> 2018年8月



<1-5> 2018年8月



<2-1> 2019年7月



<1-5> 2019年7月



<2-1> 2020年7月



<1-5> 2020年7月



<3-3> 2018年8月



<オサ-2> 2019年7月



<3-3> 2019年7月



<オサ-2> 2020年8月



<3-3> 2020年7月

<柵外の植生変化>



<0-1> 2018年9月



<4-2> 2018年8月



<0-1> 2019年7月



<4-2> 2019年7月



<0-1> 2020年7月



<4-2> 2020年7月

3. 食痕調査・植生モニタリング結果

1. 河原坊・小田越登山道 定例シカ食痕調査

<調査日時・場所>

2020年7月20日(日) 10時~14時

河原坊登山道 登山口(標高1,050m)~1,250m付近

2020年8月24日(月)

小田越登山道 登山口(標高1,250m)~山頂(1,917m)

<調査地点>

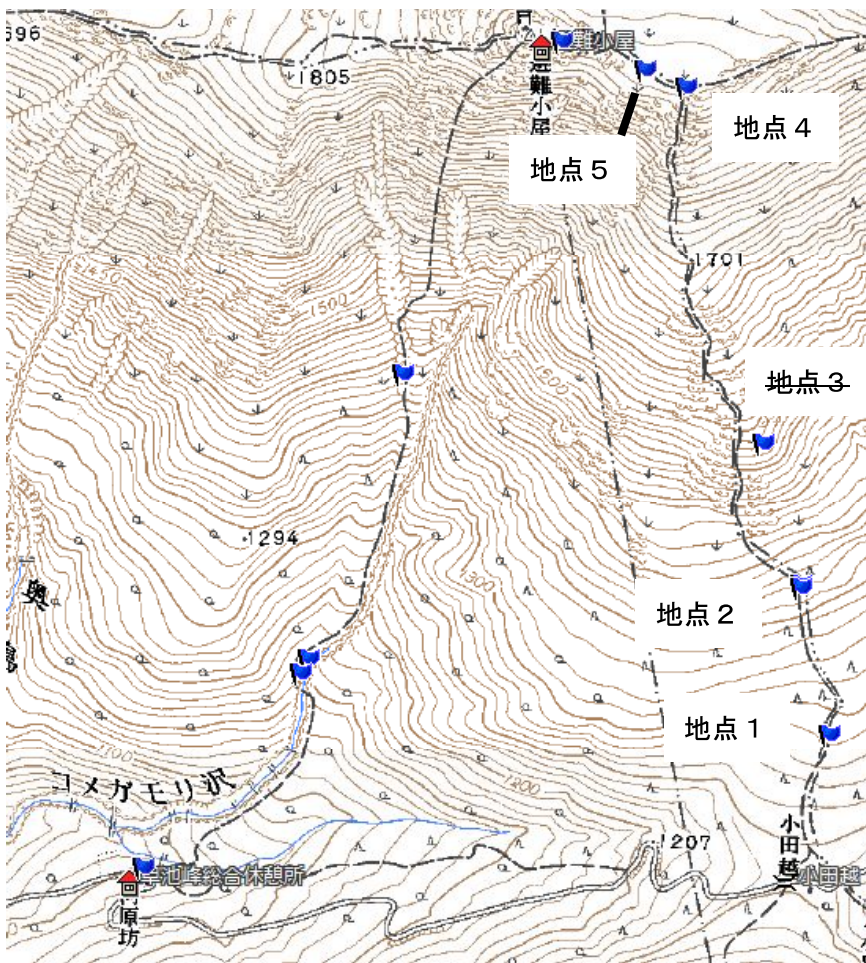


図1 食痕調査地点

<記録方法>

ルート上で草食動物による食痕のあった種と、その頻度の目視確認・写真記録を行った。

頻度は4段階で記録し、「1: その種の一部の個体に被食痕がある」「2: その種の半分程度の個体に被食痕がある」「3: その種のほとんど全ての個体に被食痕がある」「4: 前年に被食頻度が3で、当年に消失」とした。

さらに小田越登山道では、上記に加え、登山道沿いに設けた5つの固定地点において、定点間を1m間隔で撮影記録した。

<結果>

1) 河原坊登山道

森林帯では食痕の数は2019年より増加し、2018年並に戻っていた。2019年はオオバセンキュウ、アマニュウ、オニシモツケにも開花個体が見られたが、2020年は2018年同様、開花サイズに達した個体が見られなかった。オオイタドリなどの大型草本の他、従来は食痕が見られなかった種（ホガエリガヤ・ミソガワソウ・ススキなど）にも食痕が多く見られた。

2) 小田越登山道

森林帯では、これまで同様、シカが好んで食べるハリブキやゴマナ、ダキバヒメアザミなどが姿を消し、カニコウモリやヤマソテツには多くの食痕が見られた。フロラの単純化と裸地化がさらに進行していた。

剣ヶ峰分岐の地点4では食痕は全く発見できなかった。一方、地点5に近い御田植場と山頂直下の登山道沿いでは、これまで同様、ネバリノギランやミヤマセンキュウに食痕が見られた。また、地点5では、徐々に植生が衰退している兆候が見られる（下図）。

固有種については、ナンブトウウチソウおよびミヤマヤマブキショウマに、シカまたはカモシカによる食痕が各地で見られた。



2015年8月13日



2020年8月24日

2. ハヤチネウスユキソウ及びナンブトウウチソウの花茎の食痕原因調査

【経緯】

2019年8月中旬～9月中旬、小田越登山道三合目～山頂稜線部と河原坊登山道頭垢離付近において、きわめて広範囲にハヤチネウスユキソウとナンブトウウチソウの花茎上部が切り取られる現象が起きた。そのため、8月下旬に小田越三合目にセンサーカメラを設置したところ、9月初旬に、ナンブトウウチソウに上り花茎をかじっているネズミが5回撮影され、原因はネズミであると推定した。

2020年にも同様の現象が起きる可能性を考え、6月中旬～10月中旬、小田越登山道三合目・四合目・八合目の低い位置にセンサーカメラを設置した。

【結果】

三合目のセンサーカメラでは岩の上を走るネズミの姿が数回撮影されたが、花茎に上る行動は撮影されなかった。また他のカメラにはネズミは写らなかった。

2020年9月中旬に、小田越一～二合目付近において、十数株のナンブトウウチソウの花茎上部が切り取られているのが発見された。しかし、二合目より上のナンブトウウチソウや、ハヤチネウスユキソウには同様の被害は認められなかった。